



社会福祉法人
福角会

平成 30 年度

子育て座談会



[日時]平成 30 年 9 月 18 日 (火)

10 : 00 ~ 11 : 30

[場所]ラ・ルーチェ

平成 30 年度社会福祉法人福角会「子育て座談会」を開催しました！

ワークライフバランスの取組みの一環として、女性職員を対象に結婚・出産・育児等を抱えた職員の仕事と家庭の両立の為、育児経験者と交流を行い、復帰後のモチベーション向上を目的として、昨年度より子育て座談会を開催しています。第 2 期中長期計画の中で、女性活躍推進における計画で「監督職以上の職位における女性職員の比率を平成 30 年度までに 42%、平成 32 年度末までに 45%にする。」の目標における対策として、平成 28 年度より女性職員を対象に結婚・出産・育児等を抱えた職員の仕事と家庭の両立やモチベーション向上のための支援を行うこととなっています。

今回で第 2 回目となる子育て座談会の様子をご紹介します！！

スケジュール

10:00 ~	オリエンテーション	・芳野理事長挨拶 ・スケジュール説明 ・参加者自己紹介 ・福角会のワークライフバランスへの取組み紹介
10:10 ~	フリートークⅠ	テーマ「子育ての悩みについて」
10:40 ~	フリートークⅡ	テーマ「仕事について」
11:10 ~	質疑応答	

オリエンテーション

芳野理事長 挨拶

ワークライフバランスへの取組みについて



～理事長より～

子育てをしながら仕事に復帰することの不安は大きいかと思います。私たちの時代は産前産後 6 週間しかありませんでした。3 時間ごとに授乳が必要な状況で「仕事には絶対に行けない」と思いましたが、子どもも 3 時間から 5 時間持つようになり、親に合わせて成長するものなのだと感じました。今の時代はゆっくり親子の時間を大切にしながら、仕事に復帰してもらうという制度であります。私たちの仕事は対人援助であり、こうしたみなさんの経験が活かされて、還元されるということを職場としても望んでいます。復帰することに対して不安になっている方もいらっしゃると思いますが、いろいろ工夫があれば乗り越えられると思います。今日の座談会で先輩のお母さんたちからヒントを頂いて、親子ともに元気で復帰していただくことを願っています。

参加者は育休取得中の方、今後育休を取得予定の方を対象とし、3名の育休者と育休者の所属する各事業所の育児経験者4名で行いました。今回で2回目となる子育て座談会は、昨年度と同様に二つのテーマにより、参加者にフリートークをしていただきました。

フリートーク 「子育てについて」

～質問内容～

- ・日中の子どもとの過ごし方は？
- ・上の子どもが下の子どもに対し、嫉妬するようになった。子どもの気持ちを満たすにはどうしたらいいの？
- ・トイレトレーニングが進まない。やる気を出させるには？
- ・育児に悩んだときは誰に相談しているの？



「上の子どもが下の子どもに対し、嫉妬するようになった。子どもの気持ちを満たすにはどうしたらいいの？」といった2人目、3人目とお子さんが増えたことで、新たに抱える悩みも……。上のお子さんも下のお子さんも満たしてあげることができない母親としてのもどかしさやお子さんに対する溢れる想いを聞き、参加者一同、真剣に話を聞いていました。先輩ママからは「夫や祖父母など甘えられる人に任せて、上の子との時間を作っていました。」「時には誰かに頼って甘えることも大事！」だと経験者ならではのアドバイスもありました。

「子どもとの過ごし方」や「トイレトレーニング」など、慣れない育児に対する質問が寄せられました。お子さんとの過ごし方について、先輩ママからは「子育てサロンや児童館に通っていました」など、地域の交流の場を上手に利用して、お子さんとの大切な時間を過ごされていたようです。トイレトレーニングについては、「いつかは取れる！と思って他の子と比べずゆっくり進めていきました」といったお子さんのペースに合わせて焦らないことが大切だということでした。



フリートークⅡ 「仕事について」

～質問内容～

- ・子どもが病気になった時、事業所には理解してもらっているが、“申し訳ない”という気持ちを持ってしまい心苦しい。
- ・子どもが病気になった時、すぐに帰れるの？
- ・県外への出張はどうなるの？
- ・復職した時に仕事があるのか心配・・・。

1年以上職場を離れ、これまでとは違った環境で仕事を行うことに対する不安は大きいものです。育休者からも、県外の出張や子どもの病気などで、これまでと同じように働くことが難しいなか、職場の方に迷惑を掛けるのでは？といった心配の声が聞かれました。



お子さんの病気については、みなさん職場の方に理解していただき、すぐに帰ることができているようです。先輩ママからは、「申し訳ないという気持ちはいつももあります。職場の方には理解していただいて本当に感謝しています。」と一同、感謝の気持ちを持たれていました。「保育園からいつ呼び出しがあるかわからないので、極力迷惑の掛からないように段取りをして仕事をしています」といった工夫もされていました。



今の環境に甘えることなく、工夫しながら仕事に真摯に取り組む姿勢も、周りの方の理解を得られている理由なのかもしれませんね。

県外の出張や復帰後の仕事についても気になるところ。管理者の方に事業所としての考えをお伺いしました。

県外の出張について

A.「本人と確認して、出張できるようにあれば実施いたします。無理な状況であれば実施しません。」

A.「お子さんが小さく、夜を離れて過ごすことは難しいと理解しています。そこを無理して県外出張を計画することは考えていません。」

A.「お子さんの成長につれ、相談により決めていきたいと思います。リフレッシュになるようでしたら相談に応じます。」



管理者の皆様から、心強いお言葉をいただきました。皆さん、安心して戻ってきてください！！

復帰後の仕事について

A.「復職時の状況の中で、適宜検討し力を発揮していただけたところに配置します。行っていただく仕事は必ずあります。」

A.「仕事の量、時間などについては、しっかりと配慮して考えています。焦らずにスタートしましょう。チームにとって欠かすことができない大切な存在であることは間違いありません。安心して戻ってきてください。」

A.「従事していただきたい仕事はいくらでもあります。今までの経験を活かしてご活躍を期待します。」といった回答をいただきました。



～質問内容～

- ・仕事と子育てと家事を上手に両立する方法や心がけていることは？
- ・子どもが一人でも大変だったので、二人になると思うと不安です。どうやって両立していけばいいのか・・・。
- ・子どもが病気の時など、どれくらいの割合で夫等と育児分担しているの？
- ・一人目の時、復帰して2か月間時短勤務にさせていただいた。皆はどうしてるの？



続いて、仕事との両立についてどうしているのかについての質問です。先輩ママからは「夫や家族に協力してもらう」「ごはんなど手抜きをする。」「家事は完璧にやろうと考えない。」といった声が多く聞かれました。また、お子さんが病気の時については、ほとんどの方がご自身が休むことが多いようです。「都合がつかないときは夫や祖父母に頼んでいます」など、ときには周りの協力も必要です。何でも自分でやらなくては！と考えず、上手に手を抜くことが大事だと、みなさん考えていました。

また、時短勤務については、経験者のうち、3名が時短勤務を取得していました。時短勤務にしたことで「自分自身に余裕を持つことが出来始めました」といった声もありました。それぞれ取得期間は違いますが、上手に制度を利用して、仕事と家庭のバランスを保っているようです。

「その他」

Q「育児・仕事に疲れた時や自分に余裕がなくなったときはどうしているのか、リフレッシュ方法などを教えて！」

A.「とにかく人と話します。育児中は、育児で疲れた時はサロンへ出かけたり、ドライブをしていました。」

A.とりあえず、子どもを夫に預けて育児に疲れた時は、同じ子育てをしている友達と、仕事に疲れた時は同じ職場の人と、ゆっくりごはんを食べて喋る。それが後ろめたいなら、全て家事を済ませ、子どもを寝かせてから一人夜の買い物に出掛ける。

A.気の合う人と話す。仕事のこと、子どものことなど些細なことでも話すことですっきりし、気持ちをリセットすることができると思う。仕事のもやっとは、家に持ち込まないと決めている。もやもやした気持ちで家に帰り家族にあたってしまうよりは、職場で共有できることは、そこで話して気分を入れ替えて帰る。

参加者からの感想

ラ・ルーチェで開催ということで、とてもリラックスした雰囲気のできたので良かったです。少しの時間でしたが、子どもと離れて意見交換できたことで気分転換になりました。復帰しても理解してくれる先輩職員がいると実感することが出来、とても良い機会でした。

子育てがしんどいと感じたことがあり、同じような経験のあるかた、同じ思いの方の話をきくことができ、気持ち少し楽になりました。仕事・育児の繰り返しの中でこういった時間はとてもありがたく息抜きにもなりました。恵まれた環境だなと本当に思います。



理事長の子育てのお話をもう少し聞いてみたかったです。

ちょっと時間が足りなかったです。（皆、日ごろの悩みなどたまっているので、話したいことたくさんあります。）

今、困っている事、考えていることを他のお母さんに聞けて良かったです。日頃の育児ストレスも発散できました。子どもが小さいと外で食事でもまなりません、ドリンクとピザが食べられてうれしかったです。

皆同じような悩みがあるんだと感じ、それを共有できる時間は大切だと思った。施設長からの意見も聞けたので、復帰される方の安心にもつながったのではないかと思います。

育児経験者としてはじめて参加しましたが、復帰される方だけでなく、私自身も子育てをしながら仕事をしている方の話を聞くことができて楽しかったです。





各管理者より

～いつきホームズ 管理者 安高施設長より～

Aさんへ

時々、お子さんと一緒にいつきの里へ来ていただき、お顔を見るたびに、職場復帰していただくことを心待ちにしています。

これから、子育てとの両立は大変かとは思いますが、お母さんとなって、成長したあなたの力がいつきの里・いつきホームズには必要です。

仕事復帰した後に、だんだんとペースをつかんでください。

Aさんらしさを大切に、働くお母さんの力を発揮して下さい。よろしくお願いします。

～ウィズ 管理者 青野施設長より～

Bさんへ

お変わりないでしょうか？子育て楽しんでいますか？Bさんのことですから、大変さよりも前向きな楽しさの方が先行し、幸せ一杯の毎日を送っていることと勝手に想像しています。

さて、いよいよ育児休暇も終わり職場復帰となりますね。初めてではないにしろ、やはりペースを戻すことを含めて心配や不安がつきないかと思います。今回の座談会がその不安を少しでも解消できるきっかけになれば幸いです。

ウィズとしましても、出来る限りの配慮、チームワークをもってBさんの復帰をお待ちしております。いつも通りの笑顔溢れる元気なBさんのままで、気負うことなく復帰してきて下さい。利用者、職員皆で楽しみにしております。

～松山福祉園 管理者 芳野園長より～

Cさんへ

毎日、暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

～中略～

今年の夏は大変な猛暑で、お子さんも日本の暑さに驚きを感じていることでしょう。そんな中、Cさんも初めてのことばかりで戸惑いながらも、お母さん1年目を楽しみながら、頑張られていることと思います。今のこの時間は、今しかないのを楽しんで下さい。お母さんを頑張られているCさんを尊敬します！！

松山福祉園の方の建替えも順調に進んでいます。製菓製パン班の作業棟も内装関係が決定し、10月5日には引越しです。また、新園舎も鉄骨の建方が行われ、12月には引越し予定で進んでいます。Cさんが復帰される頃には、鉄工班の作業棟も完成予定で、新しい建物でお迎えできることを楽しみにしています。また、個性豊かな利用者の方々もいろいろな意味でパワーアップして、Cさんの復帰を心待ちにしています。

今の福祉園には、Cさんの力がまだまだ必要です。力を貸してください。

そのためには、こちらでも育児をしながら、また、お子さんが増えても、安心して働き続けることができる環境を整えていきます。Cさんは、弱音を吐かず、頑張りすぎるところがあるので、少し肩の力を抜き、あまり無理をせず、しんどい時は遠慮せずにいつでも言ってください。

また一緒に働ける日を楽しみにしています。そして、時間に余裕ができたなら、園にもお子さんの顔を見せに来てくださいね。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなりますので、お身体気を付けてくださいね。

「子育て座談会」～育児休業を取得される方へ～

仕事と育児の両立を可能とした「育児休業制度」。

今ほど女性の地位や活躍（労働力）が評価され、頼りにされる時代は過去にはなかったと思います。二者択一、育児か仕事をしなければならなかった時代からすれば、随分と暮らしやすく、自分のスタイルを選べるようになり、可能性が広がりました。講師が「これは仕組み、制度であって権利ではない。」と説明され、なるほど、互い（労使）の為、仲間の為であって、利用の仕方次第で、プラスにもマイナスにもなるのだと納得した覚えがあります。仕事中心でも、育児中心でも、意外と行き詰まり、ストレスを感じるのですが、程よいバランスが保てることで仕事にも育児にも平常心で向き合え、不器用な人でも自分なりの工夫で、大変だと思えるこの時期も乗り越えられるのです。

今回、先輩から良いアドバイスを頂けると思います。幼子の成長と、利用していただく人たちの成長を重ね、何が彼らを苦しめているのか等にも、気づけるはずです。その事を現場に戻り、仲間たちと共有し、よりよい援助者として自己実現を図り、皆に還元していただけると幸いです。

理事長 芳野 道子

今回の座談会では、育児にも仕事にも真剣に取り組んでいるからこそ、溢れる想いや抱える悩みがあり、同じ母親同士で、その想いを共有することができたのではないかと思います。

ラ・ルーチェのピザを囲みながら、温かい雰囲気でお過ごし時間はあっという間に過ぎてしまい、話し足りないくらいでした。

働くお母さんの力はお子さんにとっても、事業所にとっても大きな存在です。各々の経験を活かして、事業所での活躍を期待するとともに、今後もより一層のワークライフバランスに向けた取り組みを行っていきたいと思います。



社会福祉法人
福角会